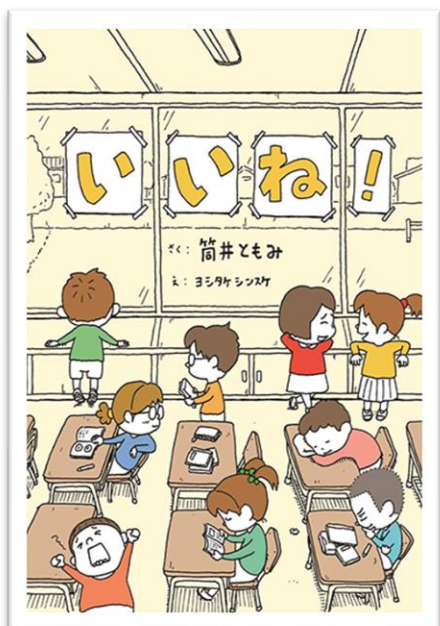


いいね！

A 個性の伸長 小学校 中・高学年



ねらい

一見「いやなこと」や「だめなこと」と思えることも、見方を変えれば「いいね」と肯定的に捉えられることに気づき、物事を前向きに捉えようとする意識を高める。

資料提示の工夫

本で紹介されている「いいね」を、共感しやすいものから順に導入で提示し興味をひく。「あいさつする」って、いいね → 「ヒーロー」って、いいね → 「さびしい」って、いいねなど。

思考を促す 発問

- 発問1 本で紹介されている「いいね！」〈後掲資料①〉は本当に全部「いいね！」でしょうか。
- 発問2 (表紙裏の一文〈後掲資料②〉を提示して)「いやなことも、だめなことも、ちょっと見かたを変えたなら……？」の「……」に自分ならどんな言葉を入れますか。
- 発問3 自分の生活にはどんな「いいね！」がありますか。

ポイント

4・5月の学級の立ち上げの時期に行う。物事を肯定的に捉える意識を学級経営の前半に高めることで、何事にも前向きに臨もうとする子どもの姿につなげる。

出典： 筒井ともみ作、ヨシタケシンスケ絵『いいね!』あすなる書房

クレジット： 筒井ともみ ヨシタケシンスケ

資料①

「ヒーロー」って、いいね 「おにぎり」って、いいね

「ひざ小僧^{こぞう}」って、いいね 「歯ぬけ」って、いいね

「鼻^{あな}の穴」って、いいね 「タオル」って、いいね

「眠^{ねむ}れない」って、いいね 「エクボ」って、いいね

「でかいウンコ」って、いいね 「チンコ」って、いいね

「転ぶ」って、いいね 「ドーナッツ作り」って、いいね

「あいさつする」って、いいね 「男^{どろし}同士」って、いいね

「くさい」って、いいね 「さびしい」って、いいね

「裸^{はだし}足」って、いいね 「ネコ新聞」って、いいね

「ポーズ刈^がり」って、いいね 「会えない」って、いいね

資料②

いやなこと、だめなこと、
ちよつと見かたを変えたなら……？